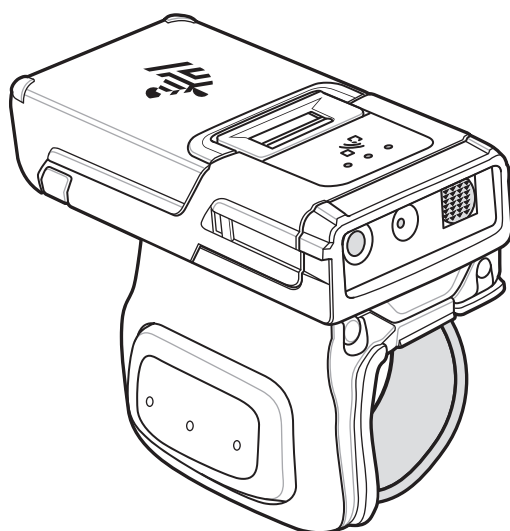


RS5100

リング スキャナ



クイック スタート ガイド



ZEBRA

著作権

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2019 Zebra Technologies Corporation および / またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

著作権および商標: 著作権と商標情報の詳細については、www.zebra.com/copyright でご確認ください。

保証: 保証に関する詳細情報については、www.zebra.com/warranty を参照してください。

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: EULA の詳細情報については、www.zebra.com/eula を参照してください。

使用の条件

- 所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

- 製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

- 免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任は負わないものとします。

- 責任の限定

業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、または同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

保証

Zebra のハードウェア製品の保証については、次のサイトにアクセスしてください。www.zebra.com/warranty

サービスに関する情報

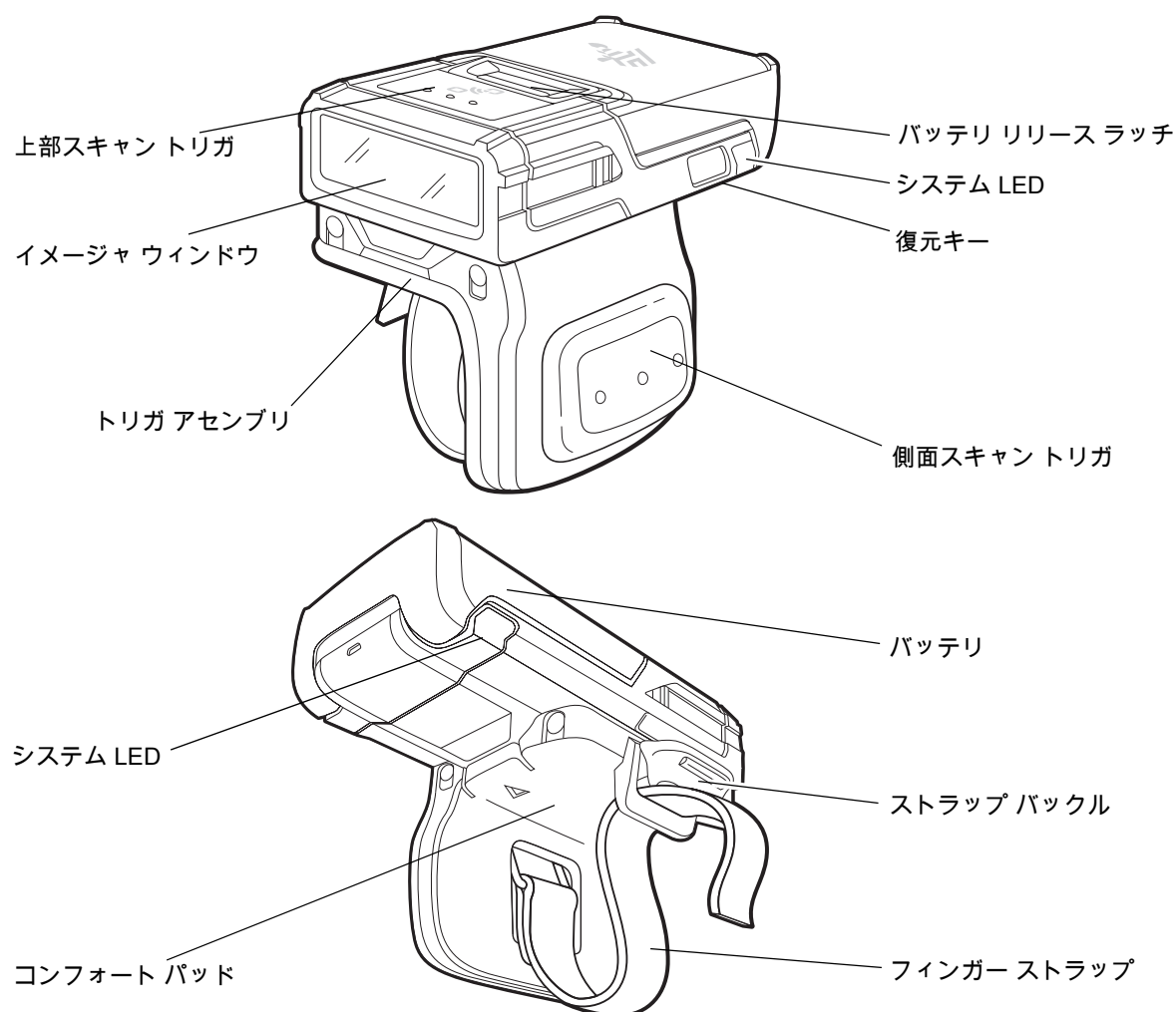
本機器を使用する前に、お客様のネットワーク環境で運用するための設定、およびお使いのアプリケーションを実行するための設定を行ってください。

本機器の使用中に問題が発生する場合は、お客様の使用環境を管理する技術サポートまたはシステム サポートにお問い合わせください。本機器に問題がある場合、各地域の技術サポートまたはシステム サポートの担当者が、Zebra グローバル カスタマー サポート (www.zebra.com/support) に問い合わせます。

このガイドの最新版については、次のサイトでご確認ください。www.zebra.com/support

機能

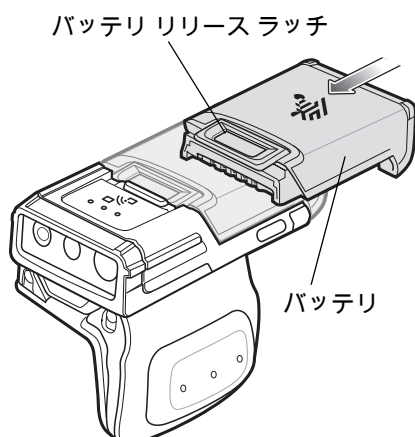
図 1 RS5100 シングル トリガ設定機能



バッテリーの取り付け

1. RS5100 の上部にバッテリーを合わせ、バッテリー収納部に挿入します。

図2 バッテリーの取り付け



2. バッテリーを RS5100 のロック スロットに完全にスライドさせます。
3. カチッという音が聞こえるまで RS5100 内にバッテリーをしっかりと押し、バッテリー リリース ラッチを本体に完全にはめ込みます。

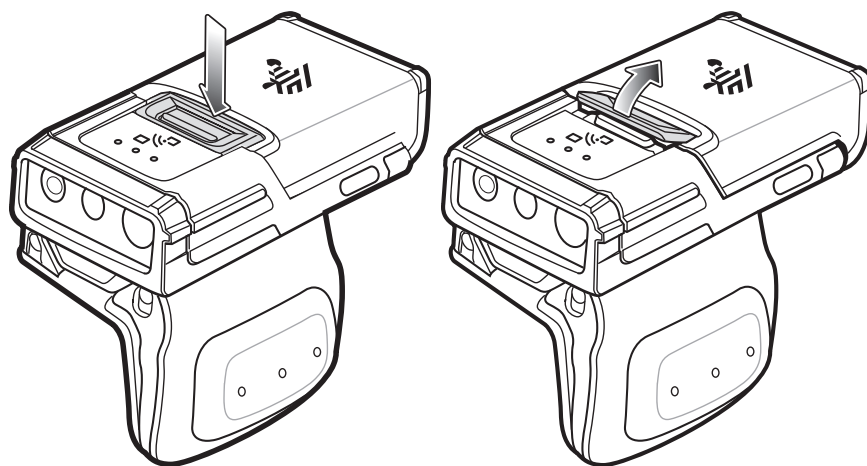


注：工場出荷時に出荷された新品のバッテリーは、保護のため出荷モードで出荷されています。バッテリーを有効にするには、充電器（クレードルまたはバッテリー充電器）に差し込む必要があります。

バッテリーの取り外し

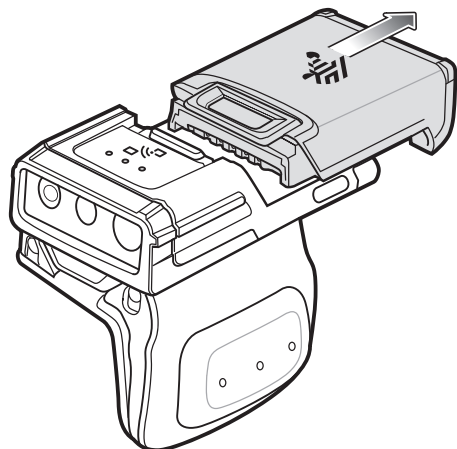
1. ラッチが持ち上がるまで、バッテリー リリース ラッチを押し込みます。

図3 バッテリーの取り外し



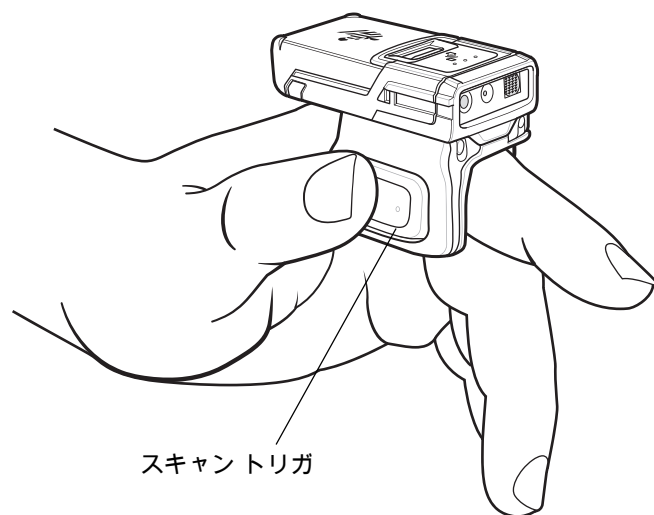
2. バッテリーを、バッテリー収納部からスライドして取り出します。

図 4 バッテリーの取り外し

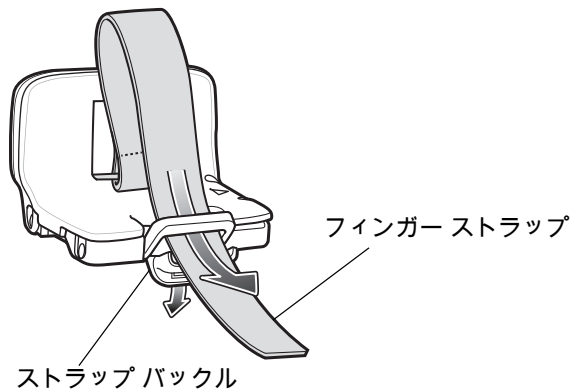


RS5100 の取り付け

1. RS5100 を人差し指に装着し、スキャントリガが親指の横に来るようにします。



2. フィンガー ストラップを締めるには、ストラップの端をストラップ バックルに通します。フィンガー ストラップを緩めるには、ストラップ バックルからストラップを引き出しながら、フィンガー ストラップからストラップ バックルを取り外します。ストラップ バックルを外して、フィンガー ストラップを所定の位置に固定します。



電源オン

デバイスの電源をオンにするには、次の手順に従います。

1. バッテリーを取り付けます (まだ取り付けられていない場合)。



注：工場出荷時に出荷された新品のバッテリーは、保護のため出荷モードで出荷されています。バッテリーを有効にするには、充電器 (クレードルまたはバッテリー充電器) に差し込む必要があります。

2. 黄色の側面スキャン トリガを押します。

Bluetooth の接続



注：下記の接続方法は、Zebra モバイル コンピュータのみに適用されます。詳細については、『RS5100 Product Reference Guide』を参照してください。

NFC タップツーペア

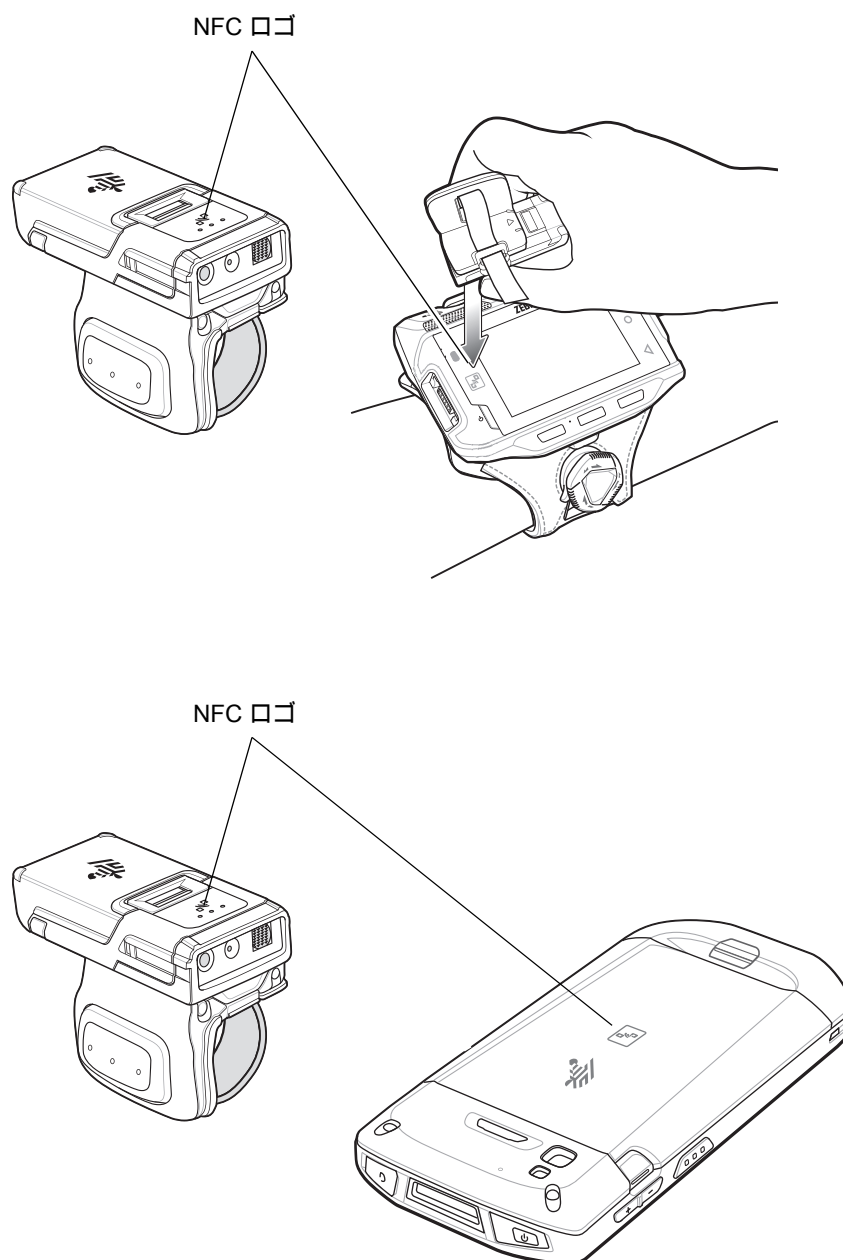
RS5100 は NFC 対応で、Bluetooth タップツーペアをサポートします。

WT6000 や TC52 などのデバイスに接続するには、次の手順に従います。

1. NFC がデバイスで有効になっていることを確認します。
2. RS5100 の NFC アイコンとデバイスの NFC アイコンを合わせます。

RS5100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色のステータス LED が点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS5100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

図 5 NFC アンテナに接触



注：すべての Zebra デバイスが NFC リーダーとタップツーペア機能をサポートしているわけではありません。

Scan2Pair

SSI を使用して RS5100 を WT6000 や TC52 などのデバイスにペアリングするには、次の手順に従います。

1. デバイスで、 >  の順にタッチします。[Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ) が開きます。

図 6 [Bluetooth Pairing Utility] (Bluetooth ペアリング ユーティリティ)



2. RS5100 を使用して、画面でバーコードをスキャンします。

RS5100 がデバイスとの接続を確立しようとしていることを示す、青色のステータス LED が点滅します。接続が確立されると、ステータス LED が消灯し、RS5100 で低いビープ音と高いビープ音が続けて鳴ります。

デバイスで、ペアリングが成功したことを示すトースト通知 (音声および画像) が表示されます。Bluetooth 接続が確立されると、デバイスの画面上にポップアップ通知が表示されます。

3. デバイスで、 をタッチしてメイン画面に戻ります。

スキャン

RS5100 では、SE4710 と SE4770 の 2 つのスキャン エンジン オプションを使用できます。SE4710 はオレンジ色の LED ドット照準を、SE4770 は赤色のレーザー十字照準を、それぞれ照射します。スキャンを有効にする方法については、『RS5100 Product Reference Guide』を参照してください。

SE4710 を使用した RS5100 のスキャン

バーコードをスキャンするには、以下の手順に従います。

1. スキャン アプリケーションを起動します。
2. スキャン トリガを押して、デバイスをバーコードに向けます。
3. デバイスの位置を調整して、オレンジ色のドットの照準がバーコードの中央に表示されるようにします。
照準パターンの領域にバーコードが納まっていることを確認します。明るい照明下でもよく見えるようにドットの照準を使用しています。
ステータス LED が赤く点灯します。読み取りが成功すると、ステータス LED が赤色から緑色に変わり、ビープ音が鳴ります。



注: デバイスがピックリスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャはバーコードを読み取りません。

4. スキャン トリガを放します。
バーコード データが画面に表示されます。

SE4770 を使用した RS5100 のスキャン

バーコードをスキャンするには、以下の手順に従います。

1. スキャン アプリケーションを起動します。
2. スキャン トリガを押して、デバイスをバーコードに向けます。
3. デバイスの位置を調整して、赤色のレーザー十字がバーコードの中央に表示されるようにします。
4. ステータス LED が赤く点灯します。読み取りが成功すると、ステータス LED が赤色から緑色に変わり、ピープ音が鳴ります。



注：一部の構成では、バーコードが正しくデコードされたことが、モバイル コンピュータ上で動作するソフトウェア アプリケーションで示されます。

充電



注：『RS5100 Product Reference Guide』に記載されている、バッテリーの安全に関するガイドラインに従っていることを確認してください。

RS5100 や予備バッテリーを充電するには、次の表のアクセサリのいずれかを使用します。

表 1 充電と通信

説明	部品番号	充電		通信	
		バッテリー (デバイス内)	バッテリーのみ	microUSB から USB	イーサネット
4 スロット RS5100 充電専用クレードル	CRD-RS51-4SCHG-01	○	×	×	×
20 スロット RS5100 充電専用クレードル	CRD-RS51-20SCHG-01	○	×	×	×
8 スロット バッテリー充電器	SAC-RS51-8SCHG-01	×	○	×	×
40 スロット バッテリー充電器	SAC-RS51-40SCHG-01	×	○	×	×

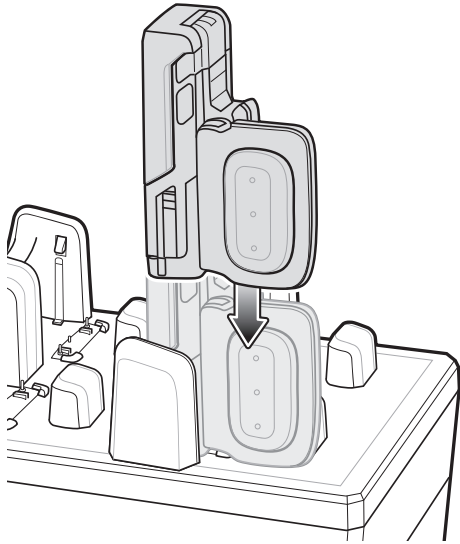
すべての充電アクセサリの詳細については、『RS5100 Product Reference Guide』を参照してください。

RS5100 の充電

RS5100 を充電するには、次の手順に従います。

1. スキャン ウィンドウを充電端子に向けて、RS5100 を RS5100 充電スロットに挿入します。

図 7 RS5100 をクレードルに挿入する



2. RS5100 が充電スロットに正しく取り付けられていることを確認してください。

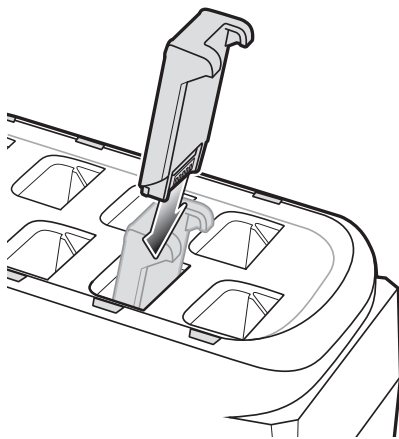


注：ファームウェアを Bluetooth 経由でアップデートする前に、RS5100 を充電することをお勧めします。

予備バッテリーの充電

1. 予備バッテリー スロットに、予備バッテリーを挿入します。

図 8 クレードルにバッテリーを挿入する



2. バッテリーが正しく挿入されていることを確認します。充電中であることを示す、予備バッテリー充電 LED が点滅します。

バッテリーの充電

RS5100 充電 LED は RS5100 のバッテリーの充電状態を示し、予備バッテリー充電 LED は予備バッテリーの充電状態を示します。11 ページの表 2 を参照してください。

 注：工場出荷時に出荷された新品のバッテリーは、保護のため出荷モードで出荷されています。バッテリーを有効にするには、充電器（クレードルまたはバッテリー充電器）に差し込む必要があります。

表 2 充電 LED インジケータ

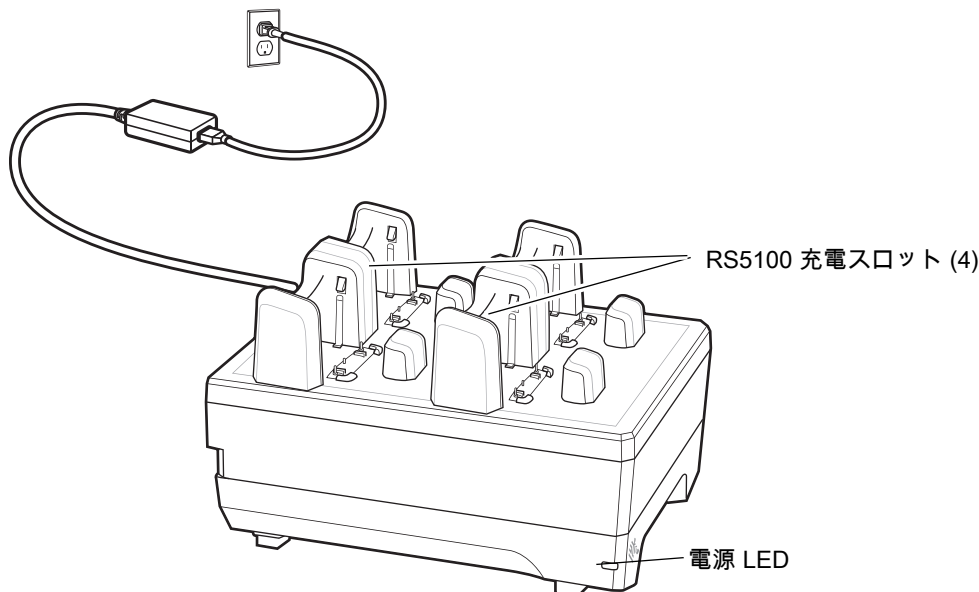
状態	意味
消灯	バッテリーが充電されません。RS5100 またはバッテリーが正しくクレードルに挿入されていないか、電源に接続されていません。クレードルに電源が供給されていません。
黄色の点灯	バッテリーを充電中です。
緑色の点灯	バッテリーの充電が完了しました。
赤色で速く点滅 (1 秒間に 2 回 点滅)	充電エラーです。次のような場合にこの状態になります。 - バッテリーの温度が、充電するには低すぎるか高すぎる。 - バッテリーの充電サイクルがタイムアウトに達した。バッテリーが、フル充電サイクルの目安時間（通常 8 時間）を経過しても充電できない。
赤色で点灯	消耗したバッテリーが充電中であるか、または完全に充電されています。

バッテリーの充電は、5 ~ 40°C (41 ~ 105°F) の温度で行います。標準バッテリーは、室温で 2.5 時間以内に 0 ~ 90% まで充電されます。充電温度が 5 ~ 10°C (41 ~ 50°F) の場合は、標準バッテリーは 5 時間以内に充電されます。

デバイスおよびクレードルは、バッテリーの温度を監視します。バッテリーの充電は、バッテリーが安全な充電温度範囲内にあるときにのみ実行されます。高温（たとえば、約 +35°C (+95°F)）の場所では、デバイスまたは充電クレードルはバッテリーの充電状態を有効と無効に交互に短時間で切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。このプロセスでは、完全な充電サイクルを完了するために、さらに時間が必要な場合があります。RS5100 またはクレードルは、異常な温度のために充電を行えなくなると、ステータス LED でそれを示します。

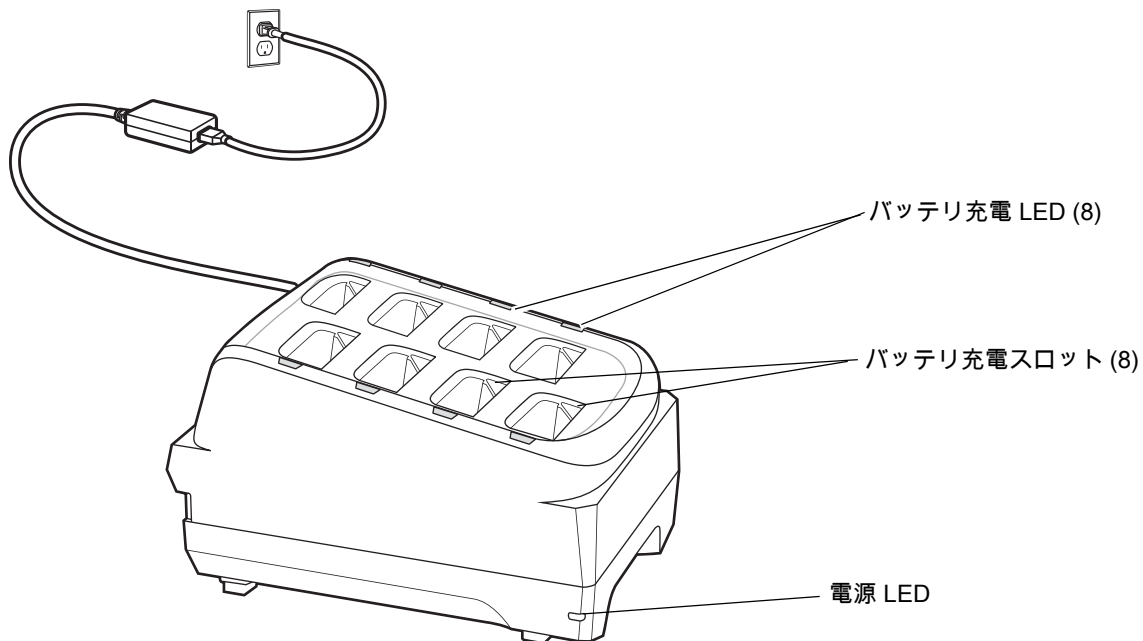
4 スロット RS5100 充電専用クレードル

図 9 4 スロット RS5100 充電専用クレードル



8 スロット バッテリー充電器

図 10 8 スロット バッテリー充電器



人間工学に関する考慮事項

- 同じ動作の繰り返しは、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 自然な姿勢を保ってください。
- 過度に力が必要な動作は、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 頻繁に使用するものは手の届く範囲内に配置してください。
- 作業は、適切な高さで行ってください。
- 振動が発生する作業は、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 直接圧力がかかる作業は、極力減らすか、なくすようにしてください。
- 適切な距離を保ってください。
- 適切な作業環境を用意してください。
- 作業手順を改善してください。

